

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 6 部門第 2 区分  
 【発行日】平成 21 年 10 月 8 日 (2009.10.8)

【公開番号】特開 2008-58445 (P2008-58445A)  
 【公開日】平成 20 年 3 月 13 日 (2008.3.13)  
 【年通号数】公開・登録公報 2008-010  
 【出願番号】特願 2006-233122 (P2006-233122)  
 【国際特許分類】

G 0 3 B 5/00 (2006.01)

H 0 4 N 5/225 (2006.01)

【F I】

G 0 3 B 5/00 J

H 0 4 N 5/225 D

【手続補正書】  
 【提出日】平成 21 年 8 月 26 日 (2009.8.26)

【手続補正 1】  
 【補正対象書類名】特許請求の範囲  
 【補正対象項目名】全文  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【特許請求の範囲】

【請求項 1】

像振れ補正用の補正レンズを保持する保持部材と、  
 前記保持部材を光軸に直交する方向に移動可能に支持する固定部材と、  
 前記保持部材の前記固定部材に対する相対的な位置を変化させる駆動手段と、  
 前記保持部材と前記固定部材の間に配設され、0.3 Hz から 100 Hz の帯域に転移  
 領域を有する減衰剤とを有することを特徴とするレンズ駆動装置。

【請求項 2】

前記減衰剤は、ゲル剤であることを特徴とする請求項 1 に記載のレンズ駆動装置。

【請求項 3】

前記ゲル剤は紫外線硬化シリコンゲルであり、硬化状態において前記帯域に転移領域  
 を有することを特徴とする請求項 2 に記載のレンズ駆動装置。

【請求項 4】

前記減衰剤は、前記保持部材又は前記固定部材の一方に設けられた前記光軸に並行な軸  
 部材と、他方に設けられた穴部との間に配設されることを特徴とする請求項 1 に記載の  
 レンズ駆動装置。

【請求項 5】

請求項 1 ないし 4 のいずれかに記載のレンズ駆動装置を具備することを特徴とする像振  
 れ補正装置。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の像振れ補正装置を具備することを特徴とする撮像装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書  
 【補正対象項目名】0011  
 【補正方法】変更  
 【補正の内容】  
 【0011】

上記目的を達成するために、本発明は、像振れ補正用の補正レンズを保持する保持部材

と、前記保持部材を光軸に直交する方向に移動可能に支持する固定部材と、前記保持部材の前記固定部材に対する相対的な位置を変化させる駆動手段と、前記保持部材と前記固定部材の間に配設され、 $0.3\text{ Hz}$  から  $100\text{ Hz}$  の帯域に転移領域を有する減衰剤とを有するレンズ駆動装置とするものである。